



# 弘前アップル RC 週報

Weekly Bulletin of Hirosaki Apple Rotary Club

例会日時: 月曜日 19 時 例会場: 弘前市総合学習センター

会長 山本周平 幹事 菊池 勲

2012 年 7 月 10 日  
第 2 号

2012-13 年度 RI テーマ

RI 会長 田中作次

地区ガバナー

松本康子

## 奉仕を通じて平和を！

Peace through Service

今月予定

■7月9日(月)

通常例会 クラブ協議会

■7月16日(月)

E 例会

■7月23日(月)

通常例会

外部卓話

「東日本大震災とロータリーと私」(秋山現信様)

■7月30日

休会



### 山本会長、点鐘に感激！

先週、職業奉仕のため福井県へ出張し、例会初点鐘を坂本会長代行に譲った山本会長が、本日の例会で会長として初めての点鐘を行い、初めて聞く鐘の響きに感激の面持ちだった。幹事報告の中で、8日(土)に開催された地区会員増強セミナーの報告が、山本会長と坂本会員よりなされた。今年度の地区の会員増強の目標は会員数 1,200 名で、6 月末の地区会員数は 1,100 名とのこと。100 名の増強を目指すことになる。当クラブは現在 25 名だが、今年度中に 40 名にとの某会員の強気の発言もでした。「アップルクラブは確かに会費は安い、会費が安いから入会するのではなく、魅力有るクラブだから入会するのだと思う。そのような素晴らしいクラブを目指したい」「ロータリークラブへ入った動機は、多くの異業種の方と触れ合い、その中でいろんなアイデアを貰い、自分の保育園経営の事業に活かしたいと思ったこと」と坂本会員。山本会長からは、「八戸北クラブの会長の入会の動機は自己成長のためで、自己成長ができるロータリーの魅力を発信できれば会員増強へ繋がるのでは」との報告がなされた。



「わが半生記」

まだ 30 歳の自分が半生を語るのもおこがましいのですが、自分のことをより知っていただきたくお話しさせていただきます。小学校時代はサッカーをしていましたが、すぐに何にでも影響を受ける人間だったので、テレビで箱根駅伝を見て感動して、中学校からは陸上競技部へと入りました。走りに走っていましたがガリガリに痩せていました。どんなに食べても貧血が改善せずに、結局、陸上競技をあきらめました。大学に入り合唱部に入りました。男子部員が少なかったので、歌うチャンスに恵まれ、結構旨くなりました。(ここで大学時代のジョイントコンサートで自身がソロパートを歌っている CD を流すが、確かにうまい)

父親が大学在学中にガンで亡くなりました。卒業して大鵬薬品に入社したのですが、その理由はこの会社が抗がん剤を持っていたからです。優れた抗がん剤で、少しでも病める人のお役にたてるのではとの思いがありました。そんな中、急に電話を貰いました。「田中さんですか？ヘッドハンティングです」との電話でした。何を言っているのかと思いましたが、とりあえず会ってみるかとの軽い気持ちで会いました。やってきたのがヒゲをはやしたあやしげな人物でしたが、「あなたの夢は何ですか？」といきなり聞かれた時に、私は日々の仕事に忙しかったので自分の夢のことなど考えてもいなかったもので、とっさに答えられませんでした。誘われている会社で働いている人は、人の社会の役にたとうというしっかりした使命感を持って仕事をしている、そして働きに見合った報酬も得ている、ということを知り、私は転職を決意しました。

もともと私は人前で話すことが苦手でしたが、ロータリークラブに入り、今回のチャーターナイト実行委員長をさせていただいて、鍛えられました。また、これまでは限られた範囲でしか人との付き合いが無かったが、多くの人と出会えるようになったことも素晴らしいことです。限られた長さの人生の中で出会える人の数には限りがあります。出会えた人とのご縁を大切に生きていきたい。そして、アップルクラブ内の自分に与えられる役割をしっかりと努めていきたいと思えます。

